

福 岡 県 志 免 町  
1人1台端末の利活用に係る計画

1. 1人1台端末を始めとするICT環境によって実現を目指す学びの姿

令和3年1月に学習指導要領及び中央教育審議会答申「令和の日本型学校教育」の構築を目指して～全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～」が示され、本町においても、「第2期志免町教育振興基本計画（令和3年度～令和7年度）」において「GIGAスクール構想の実現」を施策に掲げ、学校ICT環境の整備・情報活用能力の育成に取り組んできたところである。今後は、1人1台端末を始めとするICT環境を「文房具」のように誰もが日常的に活用できる環境を整備するとともに、日常化を促進することで、児童生徒が自発的に学び、創造性を発揮できるような教育環境の実現を目指す。

2. GIGA第1期の総括

GIGAスクール構想の実現に向け、令和2年度に各教室に無線アクセスポイント及び電子黒板、実物投影機を設置し、1人1台端末としてChromebookを4,822台整備した。他にもWebフィルタリングソフトや学習支援ソフトウェアの導入やICT支援員の配置などを通して、端末を安心して効果的に利用できる環境を整備した。また、これらICT環境を活用した教育を統一的に推進するため、志免町学校ICT教育推進協議会を立ち上げ、実践事例等を共有する機会を設け、現在も続けている。令和5年度には、リアルタイム性の高い双方向学習を実現する授業支援ソフトウェアを導入し、ますますICTを活用した授業が多く展開されようになった。

一方で、端末の故障の増加やネットワークの接続が遅いといった事象が発生しており、端末の更改に合わせたOSの変更やネットワークアセスメントで指摘があった箇所の改善に向けて検討を進める。

3. 1人1台端末の利活用方策

GIGAスクール構想の実現に向けて1人1台端末を整備し、活用を始めてから5年目を迎え、授業や家庭学習での端末の日常的な活用が根付きつつある。今後更なる日常的な活用を進めていくなかで、故障の少ない端末への更新及び十分な予備機の整備並びにネットワーク環境の改善を行い、安定した1人1台端末環境を引き続き維持していくことを前提として、以下のとおり利活用していく。

(1) 1人1台端末の積極的活用

町主催のICT研修では、オンライン形式やオンデマンド視聴を取り入れ、学校内の研修においてもこれらを推奨していく。これにより、多くの教職員が1人1台端末を積極的に活用するための知識や技能を得られるようする。なお、ICT支援員は現在の各校月6回訪問（4校未満/人）を維持し、学校内でのICT研修の充実を継続していく。

(2) 個別最適・協働的な学びの充実

すでに導入しているリアルタイム性の高い双方向学習を実現する授業支援ソフトウェアを引き続き活用し、様々な学びの場面において引き続き活用していく。また、志免

町ICT活用能力チェック表及びその達成率に応じて各学校が作成する目標設定シートを活用し、学校が組織的にICT活用を推進する体制を支援していく。

### (3) 学びの保障

不登校児童生徒や病気療養中の児童生徒に対しては、希望に応じて端末を活用した授業へ参加・視聴ができるよう必要な環境整備を行う。また、端末を利用した「心の健康観察」については引き続き実施し、児童生徒の心や体調の変化の早期把握・早期支援に努めるとともに、端末を利用した教育相談体制の実現についても引き続き検討していく。さらに、来日して間もない外国人児童生徒など、特別な支援を要する児童生徒に対しては、その実態に応じて、音声教科書や日本語学習支援アプリの積極的な活用を進める。